

■**織本道三郎** **構造設計家・発明家。全国建築士事務所連合会初代会長。生涯で取得した特許・実用新案権は200件余りに及ぶ。**
おりもとみちさぶろう
日清戦争終・1895＝ 宇都宮に近い栃木県河内郡河内村葉師寺で、雑貨を扱う大問屋を営む大地主馬場醇三・つやの十人の末子に生まれる。

体が弱く育つまいと言われるも、気丈な母に人力車で連れられ名医のところに通い続けるなどするうち、

教科書疑獄・1902＝ 7歳：葉師寺小学校に入学、
厳しい母にしつけられ、漢学者でもあった父を見て、勉強好き、とくに算術が得意で、
日露戦争始・1904＝ **9歳**：
日露戦争終・1905＝10歳：

アヲサ°創刊・ 1908＝13歳：長兄が土木出張所員でいた栃木中学校に入学、

韓国併合・・1910＝15歳：長兄が異動になったため、次兄が司法官司補になった宇都宮中学校に転校、笹川臨風の遺した'怠けずおのがじし才能を伸ばせ'という校風のもと、秀才の次兄の影響で勉強に明け暮れ、
明治天皇没・1912＝17歳：電気を第一志望するも、母の意向で、
大正政変・・1913＝**18歳**：卒業。蔵前の東京高等工業学校(東京工業大学の前身)の建築科に無試験入学、
第一次大戦始1914＝19歳：織本姓を名乗ることになる。

民本主義・・1916＝21歳：卒業し、鉄道省に入省、

仕事はすぐ出来てしまうので、いろいろと読んで研究、今村掛長から薫陶を受け、その上司久野課長や小野諒兄の恩顧を受けながら、モーレーの材料力学と構造理論を翻訳するうち、母校の研究科に戻ろうと、

原敬首相暗殺1921＝26歳：
水平社結成・1922＝**27歳**：母が死去。退官し、母校の前田教授の大同生命ビルの設計の構造を担当。大部の構造力学についての英文原書を翻訳して基本的な素養を得、出版を考えるも、
関東大震災・1923＝28歳：大同生命ビル竣工直後、神奈川県立工業学校の講師をするうち、***関東大震災に遭遇、原稿を焼失してしまうと同時に、建築物の耐震性の重要性を痛感、下根岸に、日本で最初の鉄骨・鉄筋造の建築構造体の設計監理を業務にする{織本建築設計計算事務所}を開設。次々と仕事が増えて経営のメドも立ち、**
金融恐慌・・1927＝32歳：**「計算機がない時代に、手計算で算出した独創的な図表を含む約500頁の大著「梁の計算及図表」を刊行し、名著としての定評を得た。**

何の娯楽も趣味も持たず、研究と考案だけが頭を占めていて、
満州事変・・1931＝**36歳**：
五一五事件・1932＝37歳：巴鉄工所(巴コーポレーション)と共同で**「巴式ダイヤモンドトラスを開発したのを皮切りに、**

帝人疑獄事件1934＝39歳：水天宮にビルを新築し移転。**「建築用木材接合金具(0式ヂペル、0式クランプ)、**
芥川直木賞始1935＝40歳：**「建築構材骨組法(0式ジグザグトラス)を発明するなど、次々と特許を取得、井川玉吉らと共に{ジグザグ・トラス鋼材合資会社}を創設し設計を担当した。この構法は綾羽絹靴下工場や報知新聞社格納庫のほか、**
二二六事件・1936＝41歳：**「「0式ダイヤモンド・トラス」の特許を取得し、この技術を用いた東京深川の紀長伸銅所工場では、旧工場の生産を止めることなく、その上を覆うように大張間架構を建設する合理的な施工を実現している。**
日中戦争始・1937＝42歳：この年竣工した浅草蔵前小学校実習工場に採用され、日本最初の学校建築への応用になった。
健保+総動員 1938＝43歳：軍関係のみならず建設著しい満州にも渡り、重工業の発達による大張間建築の需要と、国策による鉄鋼資材の節約という時代背景の中、木造大張間架構の研究に着手、
大政翼賛会・1940＝**45歳**：ドイツの新興木構造工法を基に**「木材接合金具「0式ヂペル」を発明、**
日米開戦・・1941＝46歳：この年から終戦まで**「ヂペル工法と大張間建築」について、各所で学術講演。**
・・・・・1942＝47歳：従来の鋸(かすがい)が持つ"ズレに無抵抗"という欠点を克服する**「0式クランプ」の研究を始め、多数の特許を取得。これらの木造接手金具は、陸海軍の木造格納庫の建設に不可欠なものとなり、**
年金+総武装 1944＝49歳：事務所に併設する形で、{織本特殊構造研究所}を設立。
敗戦・・・・1945＝50歳：水天宮に移転していた織本建築設計計算事務所はほとんど無事で、終戦とともに直ちに業務再開。東京都梱包特殊金具組合が結成され、理事長に推されるも、都の方針ですぐに解散の一方、**「木造接手金具は、欧米に例を見ない独自の技術として進駐軍の木造施設にも多数採用されることになった。**

三大事件・・1949＝**54歳**：
独立回復・・1951＝56歳：
メデー事件・ 1952＝57歳：鉄骨大張間の特殊組方・木造接手の改良その他の**「建築構造および附属金具の発明・実施の功勞により、建築技術者として初めての藍綬褒章を受章。**
TV放送始・・1953＝58歳：{日本発明新聞}に発明家列伝の一人として詳しく紹介される。
55年体制始・1955＝60歳：**「「パネトラス」を発明、**
国連加盟・・1956＝61歳：刊行会より「発明家織本道三郎」、

インスタトラーメン・1958＝**63歳**：**「土木建築用鉄筋接合装置を発明、**

安保闘争・・1960＝65歳：
全国総合計画1962＝67歳：**「全国建築士事務所連合会初代会長に就任し、**
大学紛争始・1965＝70歳：**「建築界の功績により勲四等旭日小綬章。**
美濃部都知事1967＝**72歳**：

生涯で取得した特許・実用新案権は200件余りに及び、

石油ショック1973＝78歳：
角栄金脈辞任1974＝79歳：**「没した。**
織本匠構造設計研究所創立者の織本匠は義子。